

NPO法人 里山保全竹活用百人会

～令和6年2月8日(木) 訪問～ 【竹田市】



竹灯籠で城下町をライトアップする竹田市の秋の風物詩「竹楽」は、3日間で約10万人が訪れる一大イベントとして定着し、令和6年には第25回の節目を迎えます。

NPO法人里山保全竹活用百人会は、この「竹楽」の企画運営のほか、荒れた竹林の再生や親子森林教室などの「里山保全活動」を行っている団体です。

懇談では、里山を生かしたまちづくりを100年間継続することを目標として平成12年に始まった活動の経過及び概要をご説明いただいた後、運営の中核を担う方々のお話を伺いました。

最近の物価高騰による資材費の増加や「竹楽」の人気が高まるにつれて発生してきた渋滞への対応、バスドライバーの「2024年問題」によるシャトルバスの確保などの課題のほか、新たな自主財源としてのオリジナル竹製品の開発や次世代に里山保全事業をつなぐための人材育成への取組などもお聞きしました。

「竹楽」を竹田市のイベントから県を代表するイベントに発展させ、より質を高めていきたいという皆さんの決意をお聞きし、竹田という素晴らしい文化や歴史がある地域からスタートしたことが強みであり、100年後も続く活動を目指して、県内そして全国へ発信していただきたいとお伝えしました。

対 話 風 景



関連する県の施策

☆事業名：【特】自動車運送事業者乗務員確保対策事業

事業概要：2024年問題に対応し、地域公共交通の運行や物流を担うトラック輸送の維持を図るため、バス、タクシー、トラックの自動車運送事業者等が行う乗務員確保の取組を支援

- ・免許取得経費及び特例教習受講経費への助成
(補助率：バス・タクシー1/2、トラック1/3)
- ・採用活動経費等への助成 (補助率：バス・タクシー1/2)
- ・女性乗務員の確保・活躍促進に向けた交流会や情報発信の実施

予算額：5,248万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おいた創造挑戦事業」